

気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.5
令和4年6月7日
文責：校長 松野克己

道徳の教材はふだんの生活の中にも・・・

道徳の時間は、よく教材に出てくる登場人物の行動を元に「どんなところが問題なのか」「どうすればよかったのか」といったことを自分のことに置き

換えて考えさせます。道徳の授業だけでなくふだんの生活の中で考えさせることもよくあります。6月3日(金)の全校朝会では2つの例を元にして、各学級で考えてもらいました。

【例1】

かずやさんが教室の中を歩いていたとき、机にぶつかって、ゆうみさんの筆箱を落としてしまいました。筆箱から鉛筆や消しゴムがバラバラとちらばってしまいました。でもかずやさんがそのまま教室から出ようとしたので、ゆうみさんが「拾ってよ」と言いました。かずやさんは、こう言いました。「わざとじゃなかけんよかろうもん。」・・・これって正しいでしょうか。

小学校ではありがちなことです。これははっきりしています。わざとであってもそうではなくとも、筆箱を落としてしまったわけですから、かずやさんは少なくとも謝らないといけなideし、鉛筆や消しゴムを拾って当たり前ですね。でも、そう考えない子がいるのも確かです。

【例2】

たかしさんはよく廊下を走って注意されます。この日、廊下を歩いていたたかしさんの横をみなみさんが走ったので、たかしさんが「走るなさ!」と注意しました。これってどう思いますか。



これなんかも低学年ではよくあることです。みなみさんは廊下を走っていたわけですから、注意をされても仕方がないでしょう。でも、「走るなさ!」というたかしさんの命令調の注意の仕方はよくないですね。また、この場合、ふだんよく廊下を走っているたかしさんが、自分の事を棚に上げて注意できるのかということも考えどころです。このような普段の生活の中で見られる行いを通して、よりよい行いについて考えさせるのは、とても大切です。

大きく育て! 2年生芋苗植え

今年も民生児童委員の皆さんのお世話をいただいて、2年生がサツマイモの栽培を行います。5月25日(水)に、

昨年度整備していただいた多目的グラウンドの畑で、芋苗植えを行いました。植え方の説明を聞いた後、2年生の子供たちは指導を受けながら黒マルチに空けてある穴に苗を植えました。私たちの知らないところで畑の消毒や肥料入れ、畝作りにマルチかけなどをしていただいていますし、作業が終わった後は、ちゃんと入っていない苗を再度植え直してもらったりもしています。本当にありがたく感じています。

昨年度は、大きさも数も驚くぐらいの収穫ができました。今年もそうなったらいいですね。2年生の子供たちは、時々、成長の様子を見に行ったり、草取りをしたりします。また、1年生も学校敷地内の畑に芋を植えました。こちらも水やりをしたりして、11月の収穫を楽しみにしています。



自然の美しさに触れさせてもらいました



ご存じの方も多いでしょうが、浦にお住まいの民生児童委員会会長、大石慶志郎さんは写真を趣味にされていて、これまでも運動会などの写真をいただくことがありました。その大石さんが5月18日から5日間、佐志公民館で個展を開かれました。近くでもあり、3年生と6年生が作品鑑賞に出かけました。私も拝見いたしました。四季折々の様々な自然の風景が撮影されており、旅をさせてもらっているような感覚を味わえました。

後日、わざわざお礼を言うためにおいでになった大石さんに伺ったところ、例えばカワセミが魚をくわえている写真などは、決して偶然ではなく、止まり木をセットして、行動パターンを観察し、何日も根気強く待った成果なんだそうです。とても真似できませんね。これからも、ライフワークとして写真撮影を続けていただきたいと思います。ありがとうございました。

2の1ポニー体験教室

今年もウェスタン牧場のポニー「チャロくん」が学校に来てくれました。6月2日(木)に2年1組の児童がチャロくんに乗ったり餌やり体験をしたり、頭をなでたりとふれあいを楽しみました。このチャロくんは元々、大良小で飼育されていて、それをウェスタン牧場の宮崎さんが引き取り、唐津地区のたくさんの学校でこの体験教室をされています。たまたまこの日がチャロくんの誕生日で、人間に置き換えると後期高齢者ということで、とても頑張ってくれています。なかなかできない体験をさせていただいています。2組は6日に体験をする予定でしたが、確実に雨が降る予報でしたから、今月の27日に延期させてもらいました。



先輩方の素晴らしい行いを紹介します

小学校の話題ではありませんが、6月5日の佐賀新聞に嬉しい記事が載っていましたのでご紹介します。佐志中の生徒会が長年、八幡町公園の美化活動に取り組んできたことが認められ、全国表彰を受けたとのこと。それも県内からは唯一の選出だそうです。佐志中の生徒会はこれ以外にも、青少協主催の花植えや佐志浜人工海浜のゴミ拾いなど、地域の環境美化にとっても積極的に取り組んでいます。佐志小の児童にもその志を引き継いでもらいたいと思いますし、小学生なりの環境美化、例えばゴミをポイ捨てしないとか、植物を大切にするといった自然愛護の気持ちを育てたいと思います。今月19日(日)にはラブアースクリーンアップの活動として、幸多里の浜と佐志浜の海岸清掃が行われます。ぜひ、多くの小学生に参加して欲しいと思います。よく耳にするようになったSDGsの意識付けにもなるのではないのでしょうか。

日本善行会、佐志中生徒会を表彰



日本善行会の善行表彰を受けた佐志中生徒会の太田和副会長(左)と福本歩来人種委員長(右)唐津市の佐志中

長年の美化活動評価

唐津市

唐津市の佐志中生徒会が、学校に近い公園の花壇の世話に長年取り組んできたとして、一般社団法人日本善行会から春季善行表彰を受けた。全国から78の個人・団体が選ばれ、佐賀県内から唯一の選出となった。

同校の生徒たちは、八幡町内会が17年前に手入れを始めた八幡町公園の花壇に花の苗を植えたり、付近を清掃したりして地元住民と協力して美化活動に取り組んできた。町内会長の坂本弘志さん(70)は「生徒の協力のおかげで公園がきれいに保てている」と感謝する。

5月27日に同校であった伝達式で、日本善行会唐津支部の藤元秀幸支部長(76)は「続いてきた素晴らしい活動を今後も受け継いで」と呼びかけた。生徒会を代表して賞状を受け取った3年の太田和副会長は「これからも地域活動に積極的に取り組みたい」と話した。(松岡着大)